



健康講座

今月の
先生紹介

えんどう ためなり
遠藤 為成 氏
えんどう歯科・
矯正歯科クリニック
院長



今月のテーマ 1日で入れ歯が固定式の歯に!

ご家族ご友人とのお出かけについてくるのが飲食ですね。先日、総入れ歯の患者さんから、「入れ歯は痛くなくて問題なく使用しているのですが…旅行先や友人との会食で入れ歯を外して洗浄するのが恥ずかしいので、固定式の方法はありませんか?」というご相談を受けました。皆さんご存じと思いますが、歯が無くなった場合、3種類の方法があります。

①ブリッジ ②入れ歯 ③インプラント

	①ブリッジ	②入れ歯	③インプラント
長所	●インプラントに比べて治療期間が短い ●固定式	●歯を削ったり神経を取らなくてもできる	●固定式で違和感なく食事できる
短所	●隣在歯を削る ●神経を取る =歯の寿命が短くなる	●取り外し ●違和感 ●味覚障害 ●発音障害	●外科的な治療 ●自費治療

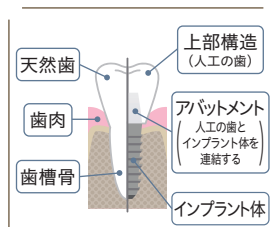
今回は固定式の方法のインプラントについて詳しくお話します。

インプラントとは

- インプラント(人工歯根)とは、歯が抜けてしまったところの骨にネジ(フィクスチャー)を埋め込んで、そのネジを土台にして人工の歯を装着する治療です。
- 最新の歯科治療として、現在注目をあびている治療法のひとつです。
- 強度や耐腐食性に優れており、何らかの原因で歯を失ってしまい、義歯やブリッジ等にしたくない方におすすめです。
- 歯の失われた部分の顎の骨の中に、チタン製のインプラント体(人工歯根)を埋め込み、それを支えとして歯を作る治療法です。

チタンとは

- 1962年に骨と結合する事が発見されました。
- ほとんどアレルギーを起こさない、安全性の高い金属です。
- 一定の期間(数か月)をかけて、骨と結合します。



「インプラント」の長所&短所のポイントを解説します。

長 所

- 通常、健康な歯を傷つけることはありません。
- 固定式なので、入れ歯のような違和感もなく食事ができます。

短 所

- (外科)手術が必要となります。
- 治療期間は、通常ブリッジや入れ歯に比べて長期にわたります。
- 原則として、健康保険は適用されず医療費は全額負担となり、費用が高額になります。(自費治療)

最近では歯を抜いたその日にインプラントを埋入して仮の歯まで作る「抜歯即時荷重インプラント」や、総入れ歯や歯周病で全体の歯がグラグラしている患者さんに全ての歯(12本)を4本のインプラントを埋入して手術当日に固定性の仮の歯まで作る「オールオンX・オールオン4」という術式もあります。インプラント治療は手術(歯科医師)、被せ物(歯科技工士)、定期健診年1回以上(歯科衛生士)の3本柱の治療になります。どれか1つが欠けてもインプラント体が長持ちしません。ご興味のある方はかかりつけの歯科医院・専門医で相談されてはいかがでしょうか?

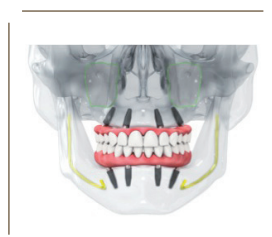


図:(株)ストローマン ジャパンより提供

